

令和6年度 学校評価 前期 主な項目の比較

		評価の観点	おおむねよい	あまりよくない
学校生活	児童	学校が楽しい。	95.1%	3.9%
	保護者	子供は、学校生活が楽しいと感じている。	97.9%	2.1%
	保護者	学校は、子供の活躍する場面がたくさんあり、教育内容が充実している。	97.9%	2.1%
	教職員	児童一人一人が活躍する場面を設けている。	100.0%	0.0%
		評価の観点	おおむねよい	あまりよくない
自ら学校を 考える 目標 の子	児童	学校のきまりや、やくそくを守っている。	97.1%	2.0%
	保護者	子供は、ルールを守り、適切に電子メディアを利用している。	83.0%	17.0%
	教職員	新小一よい子のやくそくに基づき、同一歩調で指導している。	90.9%	9.1%
	児童	学校で、学習したことがわかる。	95.1%	3.9%
	保護者	子供は、学習したことが身に付いている。	89.4%	10.6%
	教職員	児童は、学習内容が身に付いている。	87.5%	12.5%
	児童	進んで自主学習に取り組んでいる。	85.3%	13.7%
	保護者	子供は、進んで自主学習に取り組んでいる。	72.3%	27.7%
	教職員	自主学習等、学習が習慣化されている。	100.0%	0.0%
	教職員	児童が授業に主体的に取り組めるよう、指導方法を工夫している。	100.0%	0.0%
	児童	学校で火事や地震がおきたとき、どうしたらよいか知っている。	96.1%	2.9%
	保護者	学校は、緊急時や問題発生時、適切に対応している。	97.9%	2.1%
	教職員	非常災害対策の計画が立てられ、分担は明確である。	100.0%	0.0%
			評価の観点	おおむねよい
仲よく 学校を くす める 目標 の子	児童	仲の良い友だちがいる。	99.0%	0.0%
	児童	友だちと話をしたり、遊んだりするのが楽しい。	98.0%	1.0%
	保護者	子供は、仲のよい友だちがいる。	95.7%	4.3%
	保護者	学校は、いじめや不登校のない学校づくりに努めている。	100.0%	0.0%
	教職員	児童一人一人をよく理解し、指導している。	100.0%	0.0%
	児童	友だちに、やさしくしている。	99.0%	0.0%
	保護者	子供は、友だちに優しく接している。	95.7%	4.3%
	教職員	人権教育の視点(外国人、障害者、LGBTQ、いじめ等)を意識して教育活動を行っている。	100.0%	0.0%
		評価の観点	おおむねよい	あまりよくない
健康 で学 ぶ 目 標 の子	児童	進んで外で遊んだり、運動したりしている。	85.3%	13.7%
	保護者	子供は、帰宅後や週末に外で遊んだり運動したりしている。	89.4%	10.6%
	教職員	体育や休み時間を通して、児童は主体的に運動に親しんでいる。	81.8%	18.2%
	児童	給食をバランスを考えて食べている。	94.1%	4.9%
	保護者	子供は、朝食や夕食をしっかりと食べている。	100.0%	0.0%
	教職員	児童の健康の保持増進のため、健康教育を実践している。	100.0%	0.0%
	児童	自分の歯にあった歯みがきをしている。	99.0%	0.0%
	保護者	子供は、歯・口の健康を意識して、朝夕歯みがきをしている。	93.6%	6.4%
	教職員	歯と口の健康維持のため、日々の指導を適切に行っている。	100.0%	0.0%